



84歳で小説 「殿下とワイン」を出版

新屋敷幸男さん（84）

人 PERSON



として、昨年

成18年から執筆を始めました。原稿を直接持ち込んだところ、「こ



金の全国組織の役員などをしていて国会図書館などで資料を集め、平成18年3月に文芸春秋に原稿を直接持ち込んだところ、「こ



として、昨年3月に文芸春秋に原稿を直接持ち込んだところ、「こ

寄付

あたたかいお心ありがとうございます



宝くじ助成

防災設備が完備 田畠自主防災会

枕崎市で6番目の自主防災組織である田畠自主防災会（田畠寿人会長）が、このほど、宝くじの普及広報事業費を財源とする（財）自治総合センターの自主防災組織育成助成事業として助成金を受け、防災庫や発電機・無線機など防災備品を購入しました。これを受け田畠会長は「この機会に更新する自主防災組織の強化を図りたい」と話されました。

同会は平成15年に結成され、消防・救急訓練などを実施しており、今年度その実績が認められたものです。これら備品の整備により、地域の防災体制が充実し、効果的な防災活動の展開が期待されます。

市役所通り会が文化振興基金に寄付

■ 小原耕さん（大阪市）が妙見の里に寄付金をいただきました。

■ 九州電力の川崎恵一加世

益から寄付

作家デビューの快挙

▼市内で鉄工所を経営し、長年にわたり本市の民生委員をされていた新屋敷幸男さんが、日露戦争を描いた小説「殿下とワイン」を8月に出版しました。

もともと随筆などを執筆していたという新屋敷さんは、この小説はご自身が60余年前に出会った元軍人の話をもとにして構想を温めてきた長編小説。新屋敷さんは民生委員の全国組織の役員などをしていて上京をしたときに約30年間にわたって国会図書館などで資料を集め、平成18年から執筆を始めました。

そして、昨年3月に文芸春秋に

原稿を直接持ち込んだところ、「こ

とでも借りられます。

「殿下とワイン」の本は、書店で販売しているほか、枕崎市立図書館

大手出版社から

はおもしろい」と編集者の目に留まり、今回の出版になりました。

新屋敷さんは、県民生委員児童委員協議会会長をはじめ、市教育委員長ほか様々な公職を歴任されるなど社会貢献に努められ、平成11年には勲五等瑞宝章を受章されています。

そして今回、80歳を過ぎてから小説を書き始め、しかも中央の大手出版社から発行されるという快挙。「男たちのものいつになつても仕事はできるべき。やろうと思う心があればできる」と語られ、現在、第2作を執筆中。年をとつてから夢がかなえられるという希望を私たちに与えてくれます。

（写真：市役所通り会の川越正裕会長と桑原茂樹さんが9月22日、アートストリートフェスタ2008の収益から文化の振興基金に寄付いたしました。）

高校通信

枕高
4号

Information of the senior high school life

今月のテーマ 「地域と共に」 枕高のボランティア活動を紹介します！

■枕崎高校では「地域と共に」をスローガンに、地域社会への貢献や敬愛される学校作りを進めています。合わせて、豊かな人間性と社会性の育成の上からもボランティア活動に取り組んでいるところです。

本年度も、現在までに100名を超える生徒が「自ら進んで」いろいろなボランティア活動に参加しています。



▶「港まつり」での水かけ隊
今回初めて祭りを主催する側から参加させていただき、多くの人の協力がないとこんな大きな行事は作れないと思いました。

（写真：市役所通り会の川越正裕会長と桑原茂樹さんが9月22日、アートストリートフェスタ2008の収益から文化の振興基金に寄付いたしました。）



▶「海の日」清掃活動
何気なくポイ捨てされたゴミは、後に多くの人の手によつて拾われているんですね…

■サッカー部

・僕たちサッカー部は部員23名で学校のグラウンドで練習に励んでいます。高校からサッカーを始めた人も多く、勝ち星に恵まれていませんが、11月の大会では良い結果が残せるよう頑張ります。応援をよろしくお願いします。



井上将健キャプテン

■女子テニス部

・私たちは部員7名で基本を中心練習しています。土日は市営コートを利用し、コーチからご指導をいただいている。枕高OBの方々にも非常にあ世話をなっています。市民の皆さん、今後も応援よろしくお願ひします。



田中里枝キャプテン

★授業公開ウィーク（10月27日・月～31日・金）のご案内

この期間、枕崎高校では学校を開放いたします。授業や部活動の見学にぜひお越しください。



↑「こども村の祭り」での綿菓子づくり

☆ボランティア活動内容

- ・図書館での貸し出し業務や本の整理
- ・「こども村の祭り」の手伝い
- ・視覚障害者への新聞の対面朗読

視覚障害者の方とのお話を通して、目が不自由ではあるが、私よりもいろいろなことが『見えている』と実感しました。何事にも前向きな姿勢は、見習わなければならないと思いました。

- ・障害児学童保育
- ・保育園児との触れ合い
- ・「海の日」清掃活動
- ・「枕崎港まつり」でのゴミ分別、御輿へ水かけを行う「水かけ隊」
- ・「まくらざき100km徒步の旅」でのサポート
- ・老人福祉施設での介護体験活動

など、様々な活動を行っています。

なお、3年生は毎年2月、卒業を前に市内各所で清掃活動を行っています。

部活紹介